

SUGGEST by hamamoto  
**mite net!**  
 みてねっと!

2019  
WINTER  
Vol.57



# ハザードマップを見てみよう!!

## 災害保険金 1兆921億円過去最大に!

自然災害による保険金の支払額

	総額	西日本豪雨	台風21号	台風24号
東京海上HD	3263	554	1841	505
MS&ADHD	4630	750	2900	980
SOMPOHD	3028	697	1560	460

※2018/11/20の読売新聞記載の数値

単位=億円 金額は元受ベースの見通し

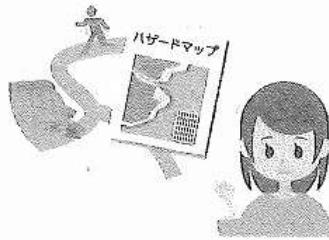
損害保険大手3グループは昨年11月に、2018年9月中間連結決算を発表し、18年度に台風や豪雨など風水害に伴って支払う保険金総額が、1兆921億円となる見込みとなり、損保業界全体として過去最大だった04年度(7449億円)を3グループだけで上回ると公表しました。

関西空港が一時閉鎖に追い込まれた9月の台風21号に伴う支払いが3グループで計6301億円と全体の過半を占め、単独の風水害としても、業界全体で過去最大だった1991年の台風19号(5680億円)を上回りました。地域別では大阪府が3084億円と最も多く、京都府(489億円)、兵庫県(459億円)、和歌山県(296億円)と続きました。

## ハザードマップ

前号のみてねっと!でもご案内しましたが、近年頻発する自然災害に備えるツールとして注目されているのがハザードマップです。

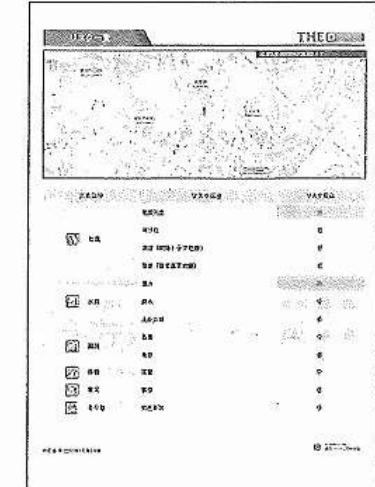
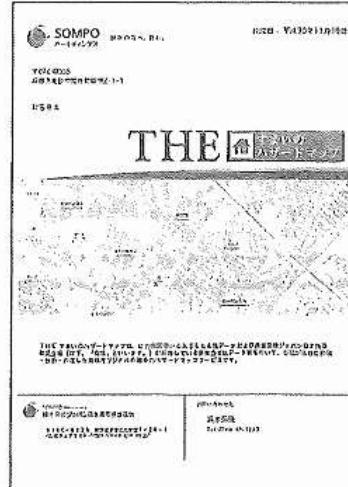
ハザードマップは地震、津波、洪水、土砂災害などの被災を予測し、被災のある地域や避難に関する情報を掲載した地図です。事前に自宅や勤務先、学校などの被害予測や避難場所を確認することにより、避難方法、避難経路を確認したり避難訓練を実施することも出来ます。



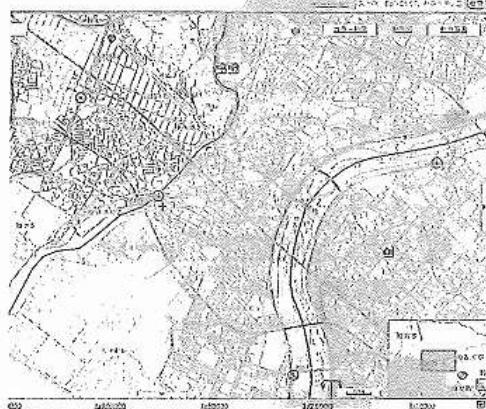
## 保険会社作成の ハザードマップ

ハザードマップは各市町村のホームページ等で公表されていますが、保険会社もハザードマップを提供しております。保険会社が提供しているハザードマップの特徴は、公共機関等が開示している洪水、土砂災害、高潮、津波等のハザードマップ情報をデジタル技術で一元化した総合的ハザードマップです。お客様の所在地ごとのハザードマップの表示に加え、リスクごとの事故例の写真や支払保険金の事例などを掲載しており、自然災害のリスクを具体的にイメージしていただくことができます。ご興味があるお客様は、お気軽に弊社担当者までお問い合わせ下さい。

【ハザードマップイメージ】



【洪水ハザードマップの例】



**事故トピック**

# もしも自動車事故にあわれたら…

**①負傷者の救護と安全の確保**

- 負傷者がいる場合は、まずは負傷者を救護、  
救急車を呼びましょう。
- 車を安全な場所に止め、非常点滅灯をつけ  
たり、停止表示機材を置いたりしましょう。
- 【救急車は119番】

**②警察への事故連絡**

- 現場を確認し、落ち着いて通報しましょう。  
曖昧な事実は言わないようにしましょう。
- ◎いつ ◎どこで ◎どのような状況か  
【警察は110番】

**③事故状況の確認と相手方の確認**

- 事故状況を確認したうえで、事故の相手方に以下のことを確認しましょう。

1. 相手方のお名前 2. 住所・連絡先 3. お車の登録番号 4. 加入している保険会社

※その場で補償の約束や示談はしないようにしましょう。相手方から何らかの請求を受けた場合は、弊社もしくは保険会社へご相談ください。

**④弊社(代理店)、もしくは保険会社への連絡****弊社連絡先**

**【北条営業部】0790-42-1223** **【高砂営業部】079-442-3515**

**【休日専用フリーダイヤル(土日祝日10:00~20:00)】0120-2-365-99**

**【弊社の事故サポート体制】**

☆上記連絡先および保険会社連絡先を記載した事故連絡カードの提供。

☆損害サービス専門スタッフによる対応。

☆修理工場の紹介(ご希望されるお客様へのサービス)

★保険金のお支払い終了後、弊社の事故対応等についてのアンケートをお願いしております。今後のお客様対応に活かしていきたいと考えますので、ご協力ををお願い致します。

## 生保トピック 入院日数の短期化が進んでいます！

**① 入院日数の実態****①入院日数の推移**

厚生労働省の資料「病院報告」によれば、1984年に54.6日だった入院日数は、1999年には39.8日に、さらに2014年には29.9日に縮小しました。その後も入院日数は減少を続け、2016年には28.5日となりました。

**②それでも長い日本の入院日数**

OECD(経済協力開発機構)の2015年調査結果で主要国の入院日数比較があります。デンマーク5.5日、アメリカ6.1日、イギリス7.0日、イタリア7.8日、ドイツ9.0日、韓国16.1日、日本29.1日となっており、他国に比べ日本の入院日数が突出して長いのがわかります。もちろん国毎に入院の定義の相違や文化的な背景の違いで一概に比較は出来ませんが、入院日数の短期化が進んだと言つても国際的には目立って長いのです。

**②なぜ、入院期間が短くなったのでしょうか****①医療技術の進歩**

内視鏡手術や腹腔鏡手術など開腹手術よりも体への負担が少ない手術技法が確立され、術後の体力回復が早まり長い入院が必要なくなりました。

**②政府の政策**

政府が医療費適正化施策として入院日数の短期化を目指していることも要因です。これからも高齢化が進む中、成り行きに任せていると全体として入院患者数の増加が避けられないことから政府は2000年代に入って導入した医療費適正化計画の中で成人病予防とともに入院日数の短期化を計画の柱としました。

以上のことから入院日数短期化は今後もトレンドとして続いていきそうです。日頃から家族を含めていつ入院患者が出ても大丈夫なようにご加入されている医療保険の保障内容をご理解されていることが大切です。証券を用意してお声掛け下されば弊社の生保専任者が保障内容の説明にご訪問致しますので宜しくお願いします。



見直してください あなたの暮らしの保障  
**浜本保険株式会社**

■本社／兵庫県加西市北条町横尾313-1 A・NOVA SANWA BLDG 1F  
TEL.0790(42)1223㈹ FAX.0790(43)1205

■高砂営業部／兵庫県高砂市高井町第2丁目1番1号  
TEL.079(442)3515㈹ FAX.079(442)3054

■HAMAMOTO CONSULTING OFFICE  
兵庫県姫路市北条町原町119北条梅原350ビル  
TEL.079(225)5551(代) 0120(920)903



■本社／北条営業部



■高砂営業部



■HAMAMOTO CONSULTING OFFICE